

1号機 ガレキ撤去作業時の ガレキ落下防止・緩和対策の進捗状況(FHM支保の設置)

2020/10/29

TEPCO

東京電力ホールディングス株式会社

1. はじめに

- 南側崩落屋根等の撤去に際し、屋根鉄骨・ガレキ等が使用済燃料プール（以下、SFP）等へ落下するリスクを可能な限り低減するため、以下のガレキ落下防止・緩和対策※を実施する。
- この内、③燃料取扱機（以下FHM）支保の設置準備を9月15日より実施し、設置作業を10月23日に完了した。

※ ①SFPゲートカバー（2020年3月設置完了）

➤ 屋根鉄骨・小ガレキ等がSFPゲート上に落下した際のSFPゲートのずれ・損傷による水位低下リスクを低減

②SFP養生（2020年6月設置完了）

➤ 屋根鉄骨・小ガレキ等がSFPに落下した際に燃料等の健全性に影響を与えるリスク低減

③ FHM支保、④天井クレーン支保

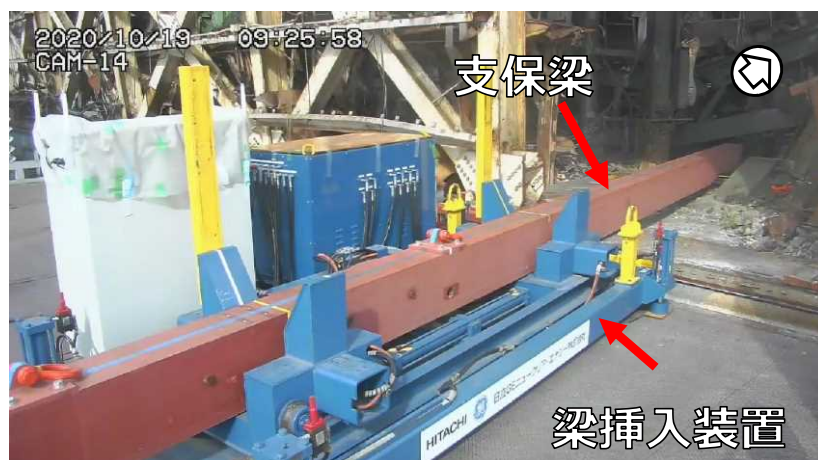
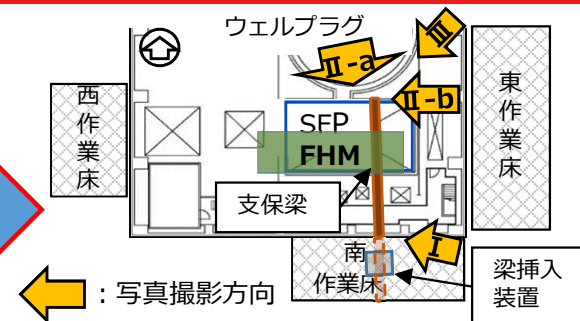
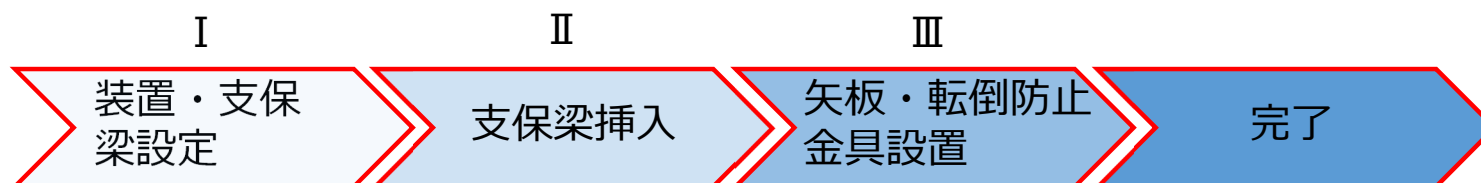
➤ 屋根鉄骨・小ガレキ等撤去により、天井クレーン/FHMの位置ずれや荷重バランスが変動し天井クレーン落下に伴うダスト飛散のリスク及び燃料等の健全性に影響を与えるリスク低減



図：ガレキ落下防止・緩和対策の概要

2. FHM支保の設置状況

■ 10月23日にFHM支保設置作業が完了した。



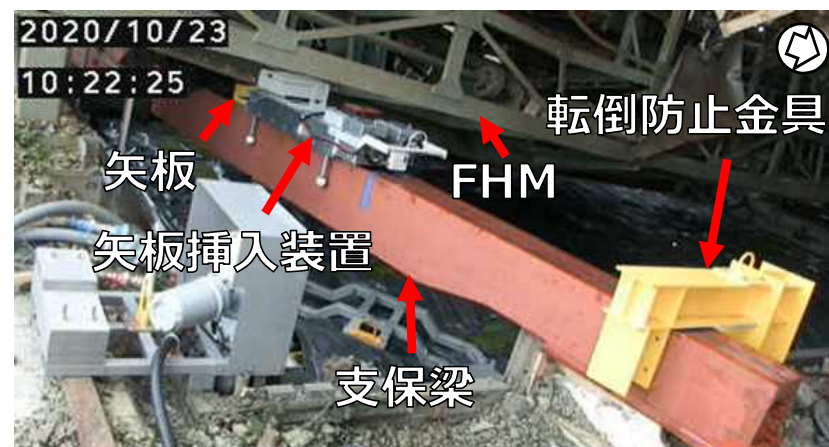
I. 装置・支保梁設定完了 (撮影日: 2020.10.19)



II-a. 支保梁挿入中 (撮影日: 2020.10.20)



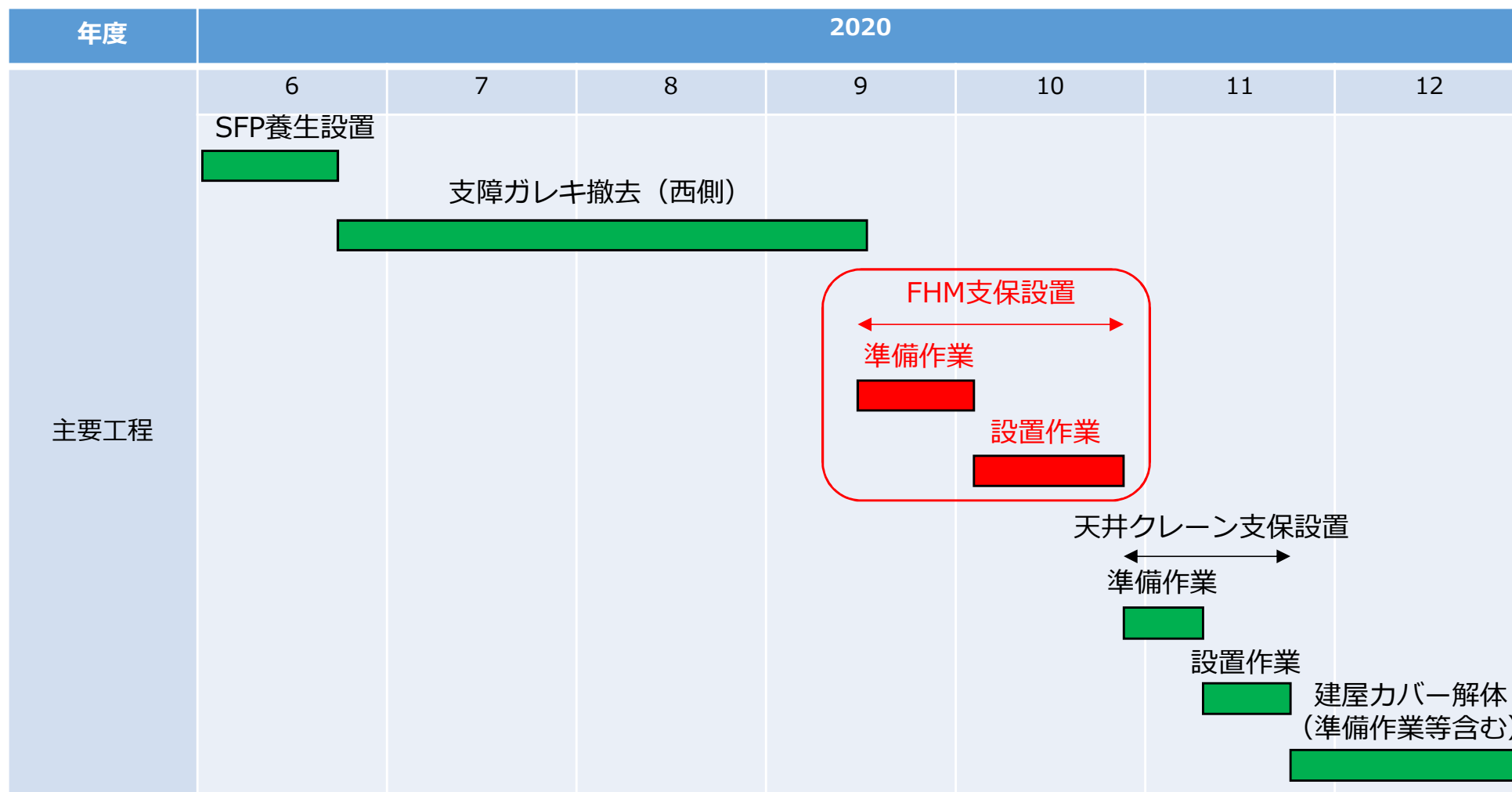
II-b. 支保梁挿入完了 (撮影日: 2020.10.20)



III. 矢板・転倒防止金具設置 (撮影日: 2020.10.23)

3. スケジュール

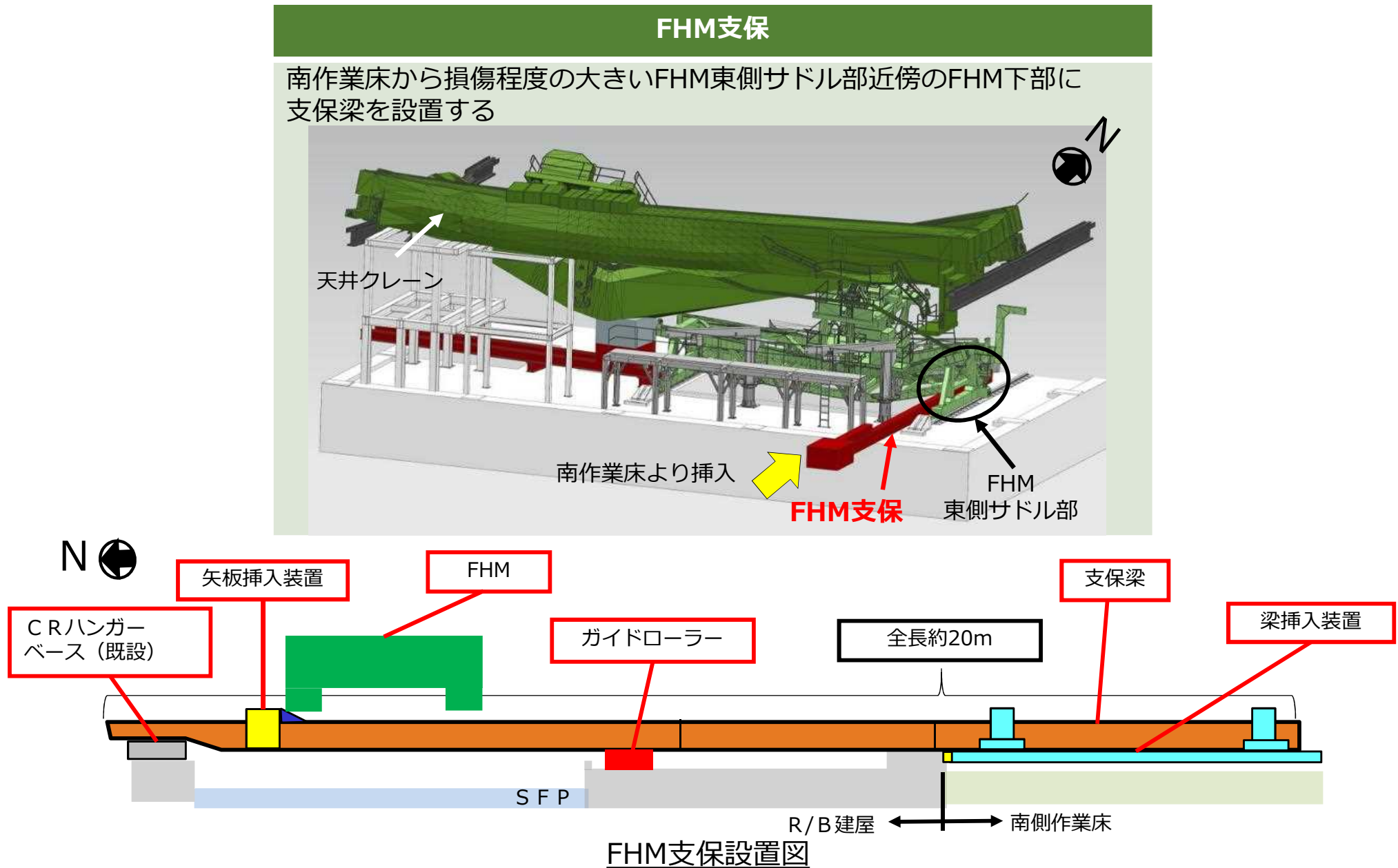
- FHM支保設置は、9月15日より準備作業を開始し10月23日に完了。
- 天井クレーン支保設置については10月28日より準備作業を開始しており、11月に設置作業を完了予定。
- 実施にあたっては、事前にトレーニングを行い万全な体制を整えた上で、安全最優先に作業を実施する。



※各工程にはトレーニング、準備期間含む。

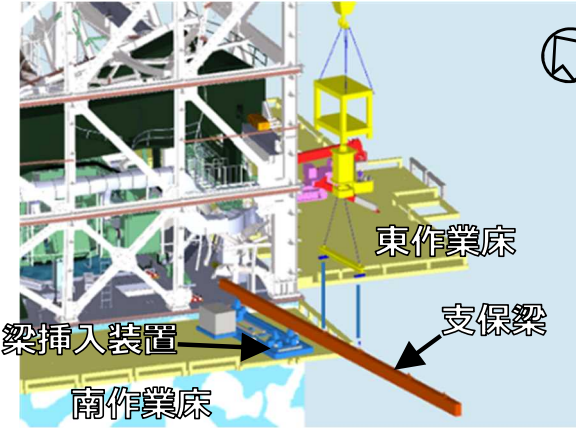
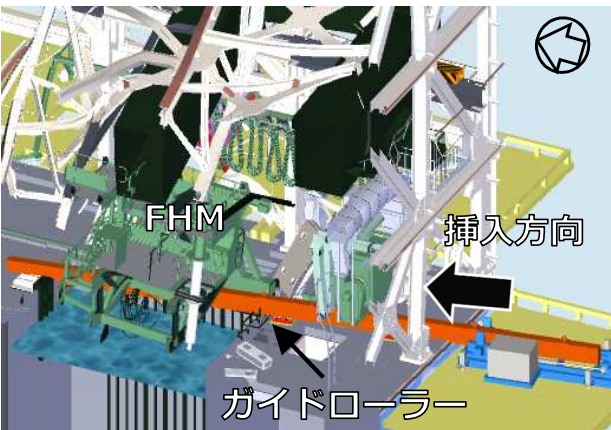
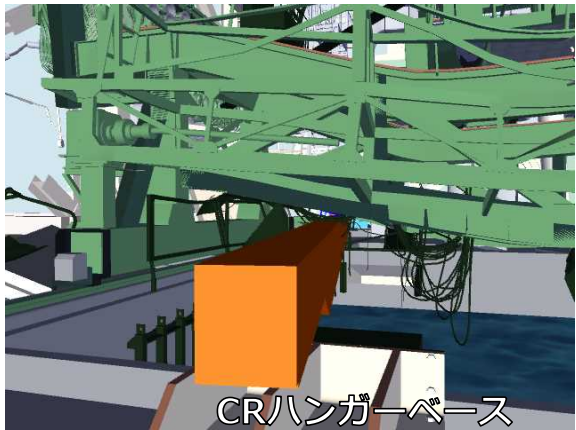
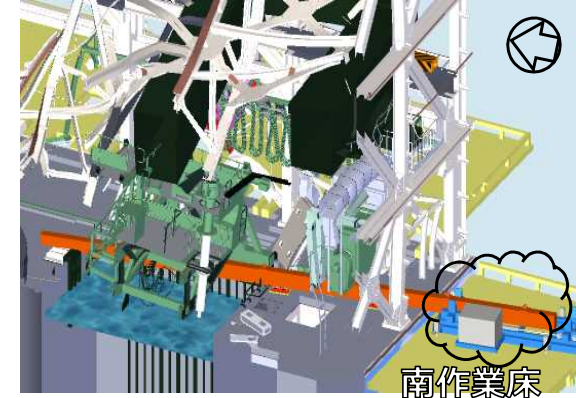
上記スケジュールは、工事進捗やトレーニング等により変更となる可能性あり。

- F H Mに対してアクセス可能で効果的な位置に支保梁を設置する。



<参考> FHM支保設置概要

- 南作業床に梁挿入装置及び支保梁を設置し（①）、梁挿入装置及びガイドローラーを用いて支保梁をFHM下部に挿入する（②～③）。その後、作業床上部の支保梁を取り外し、支保梁とFHMの隙間にFHMの北側から矢板を設置して支保梁の固定を行う（④～⑤）。

①支保梁設置	②支保梁挿入	③支保梁挿入（拡大図）
		
④支保梁挿入（完了）	⑤矢板設置・支保梁設置完了	配置イメージ
 支保梁挿入完了後、作業床上部の支保梁を取り外す		